

なにもない、島の魅力

ーアルキペラゴの島々／さぬき広島島茂浦集落を中心に

講師・齋藤 潤（著述家・旅行家）

人名の島々として知られる塩飽諸島で最大の面積を誇る広島。観光的に見るべきものはあまりなく、7つの集落が点在し広く移動するのも不便。唯一の特産品は花崗岩の一種である、青木石だ。1999年に1度訪れたきり、再訪する気になれなかった面白味のない島へ、それから14年後、情報が極端に少ない謎の島として取材にかけ、今度は嵌まってしまった。

それから4年で、30回ほど訪ねることになった茂浦集落を中心に、旧広島村（広島、手島、小手島からなる）に眠る文化的な魅力について語る。

- 日時：2018年5月12日（土）14時～17時
- 場所：東洋大学白山キャンパス
- 参加費・資料代：500円
- 問い合わせ先：松本（matsur@toyo.jp）

*終了後18時から懇親会を予定しております。

